

Biz/PrintServer

Version2.5

インストールガイド

目次

目次.....	1
はじめに.....	2
システム構成	3
Biz/PrintServer のシステム構成	3
サーバ機能の稼働環境	5
クライアント機能の稼働環境	6
開発環境の稼働環境.....	6
インストール方法.....	7
サーバ機能のインストール	7
クライアント機能のインストール	14
DCOM クライアントのインストール	14
Java クライアントのインストール.....	15
開発環境のインストール.....	18
Web サーバ側の設定.....	20
IIS 用のセットアップ	20
Oracle PL/SQL 用のセットアップ	20
Tomcat のセットアップ	20
Visual Basic 用サンプル	22
セットアップ時のエラーと対処方法	23

はじめに

このたびは、**Biz/PrintServer** をご利用いただき誠にありがとうございます。本製品のご利用前に本書をよくお読みいただき、正しい取り扱いをお願い致します。

- 本ドキュメントは **Biz/PrintServer** のインストール方法について解説しています。使い方の詳しい説明は、製品のインストールにより利用可能となる、オンラインマニュアルを参照してください。
- 本ソフトウェア および、付属のドキュメントに関する所有権、知的財産権、その他の権限は、アクシスソフト株式会社が所有しています。
- 本ソフトウェア および、付属のドキュメントは使用許諾契約書に記載されている内容に反して使用または複製することはできません。
- 本ソフトウェアの仕様 および、ドキュメントに記載されている内容は、将来予告なく変更することがあります。
- 本ソフトウェアを運用した結果の影響について、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- **ESC/P** はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- **Windows** は米国マイクロソフト社の登録商標です。
- **Adobe**、**Adobe** ロゴ、**Adobe Acrobat**、**Adobe Acrobat** ロゴは、**Adobe Systems Incorporated** (アドビシステムズ社) の商標です。
(C) 1998 Adobe Systems Incorporated. Allrights reserved
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。
- 製品の内容については万全を期していますが、ご不審な点、誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら、弊社サポート係までご連絡をお願い致します。

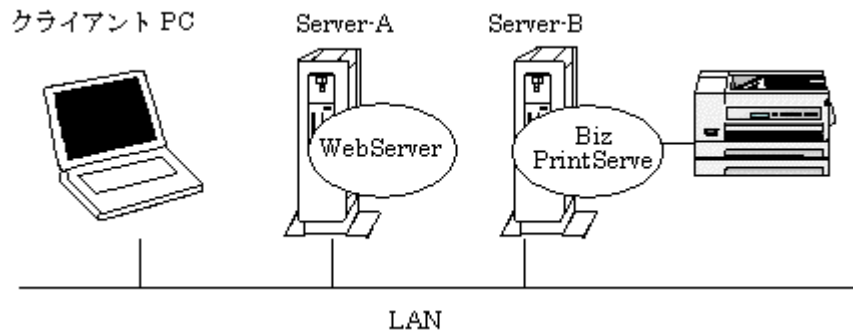
アクシスソフト株式会社

システム構成

Biz/PrintServer 製品パッケージには、印刷アプリケーションサーバとして機能する「サーバ機能」、Biz/PrintServer を利用するための「クライアント機能」及び、印刷アプリケーションを開発するための「開発環境」が含まれます。以下に代表的なシステムの構成例を説明します。

Biz/PrintServer のシステム構成

典型的なシステム構成例を図示します。Web サーバと Biz/PrintServer の稼動するマシンを別けることで、Web サーバを印刷による CPU 負荷から開放することができます。



クライアント PC

Windows98 などの PC。Internet Explorer(以下 IE と略します)などの Web ブラウザが必要となります。Biz/PrintServer のサンプルページやオンラインマニュアルのページは IE5.0 以降を推奨しますが、IE4.0 以降または、Netscape Navigator 4.0 でも表示可能です。

Biz/PrintServer に関するコンポーネントのインストールは必要ありません。アプリケーション開発環境として利用する PC に限り「開発環境」をインストールする必要があります。

Server-A

Microsoft IIS、ORACLE Application Server または Tomcat や JRun などが稼動するサーバコンピュータ。IIS+ASP や PL/SQL から Biz/PrintServer への接続では、DCOM インタフェースが利用されます。この場合、Server-A は DCOM をサポートする WindowsNT か Windows2000 となります。

Biz/PrintServer ver2.5 より追加された Java インタフェースは、Biz/PrintServer への接続に HTTP を利用します。この場合、JDK1.3 を完全にサポートした環境であれば、Linux や Solaris など Windows 以外のコンピュータを利用することができます。

DCOM インタフェースにより Biz/PrintServer へ接続するためには Biz/PrintServer の「クライアント機能」をインストールする必要があります。

Java インタフェースにより Biz/PrintServer へ接続するためには JavaConnect パッケージをインストールする必要があります。

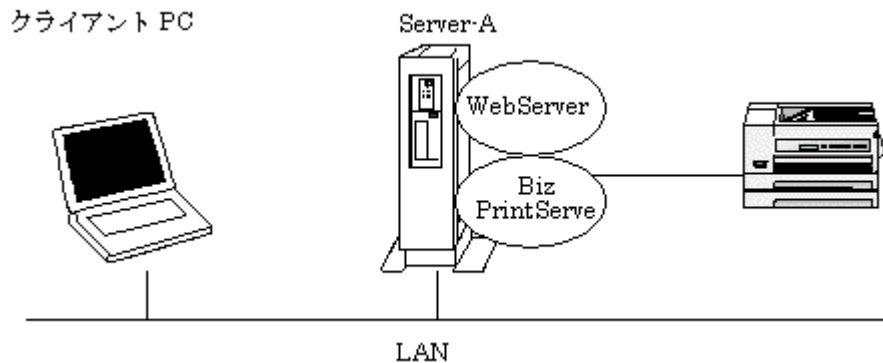
サンプルプログラムを実行するためには Web サーバに応じたサンプルページの設定が必要となります。

Server-B

Biz/PrintServer が稼動する WindowsNT または Windows2000 マシン。印刷モジュールの実行など印刷に関わる処理はこのマシン上で実行されます。

Biz/PrintServer の「サーバ機能」をインストールする必要があります。

次の例は、Web サーバと Biz/PrintServer を同居させた例です。このような構成とすると、サーバ機の台数を削減することができます。また、将来パフォーマンスが不足してきた場合、Biz/PrintServer を別のマシンに移すことも可能です。



クライアント PC

WindowsMe などの PC。IE などの Web ブラウザが必要となります。Biz/PrintServer のサンプルページやオンラインマニュアルのページは IE5.0 以降を推奨しますが、IE 4.0 以降または、Netscape Navigator 4.0 でも表示可能です。

Biz/PrintServer に関するコンポーネントのインストールは必要ありません。アプリケーション開発環境として利用する PC に限り「開発環境」をインストールする必要があります。

Server-A

Microsoft IIS、ORACLE Application Server または Tomcat や JRun など Biz/PrintServer が稼動するサーバコンピュータ。WindowsNT または Windows2000 となります。

Biz/PrintServer のサーバ機能をインストールする必要があります。クライアント機能はサーバ機能と同時にインストールされますので、別途インストールする必要はありません。

サーバ機能の稼働環境

Biz/PrintServer のサーバ機能をインストールするためには、以下のシステム構成が必要となります。

OS	Windows NT 4.0 (サービスパック 5) 以降 Windows2000 (AdvanceServer を除く。一部の機能に制限があります)
ハードディスク	100 Mbyte 以上の空き容量 (※1)
メモリ	128 Mbyte 以上 (※2)
プリンタ	1 台以上のプリンタが接続されていること (※3, ※4)
ネットワーク	TCP/IP によるネットワーク環境

- ※1 標準の設定では、印刷イメージを EMF 形式でインストールディレクトリの中に保存します。このファイルは 1 ページあたり概ね 5K から 20K 程度となりますので、空き容量に余裕のあるディスクへインストールしてください。
- ※2 Biz/PrintServer は印刷処理に外部のプログラムを呼び出します。大量のメモリを外部プログラムが要求する場合、環境に合わせて十分なメモリを用意してください。
- ※3 プリンタが接続されていないシステムにインストールを行う事はできません。Biz/PrintServer をインストールする前に、プリンタポートにプリンタを接続しているか、またはネットワークプリンタが登録されているかを確認してください。
- ※4 Biz/PrintServer は印刷イメージの生成にプリンタドライバの EMF 生成機能を使用します。EMF をサポートしたプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

クライアント機能の稼働環境

Biz/PrintServer のクライアント (Web サーバの稼働する Biz/PrintServer に対するクライアントシステムを指します。) 機能をインストールするためには、以下のシステム構成が必要となります。

OS	DCOM インタフェースを利用する場合 Windows NT 4.0 (サービスパック 5) 以降 Windows2000(AdvanceServer を除く) または DCOM が利用可能な Windows98/Me
	Java インタフェースを利用する場合 JDK1.3 をサポートする環境
ハードディスク	60 Mbyte 以上の空き容量
メモリ	Web サーバの実行に十分な容量
ネットワーク	TCP/IP によるネットワーク環境

開発環境の稼働環境

Biz/PrintServer の開発作業は主に帳票定義の作成とデータを埋め込むためのプログラムの作成となります。Biz/PrintServer は汎用的に利用できる帳票印刷アプリケーションサーバですので、これらの開発作業に利用するツールやプログラム言語はアプリケーション要件により自由に選択することができます。

本製品には帳票定義を作成する `PrintStream FormEditor` が付属します。詳細は `PrintStream FormEditor` のリファレンスマニュアルを参照してください。

インストール方法

サーバ機能のインストール

Biz/PrintServer のサーバ機能のインストール手順を、以下に示します。

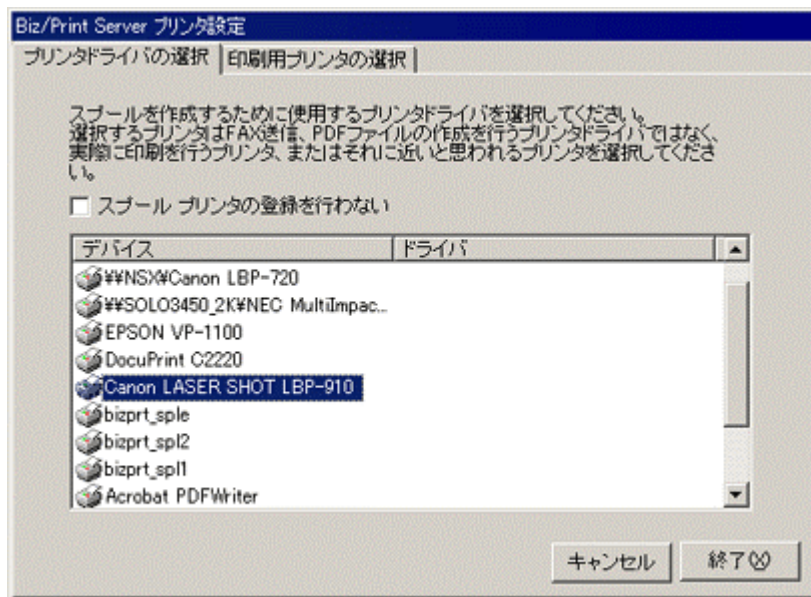
- (1) サーバとして使用するシステムで、CD-ROM に含まれる **SETUP.EXE** を起動するか、自動的に表示されるパネルより「Biz/PrintServer」を選択します。



- (2) セットアッププログラムの指示に従い、Biz/PrintServer のインストールを行います。このとき、インストールするコンポーネントを選択する画面で、「印刷サーバとして設定する」チェックボックスをチェックしてインストールを行います。

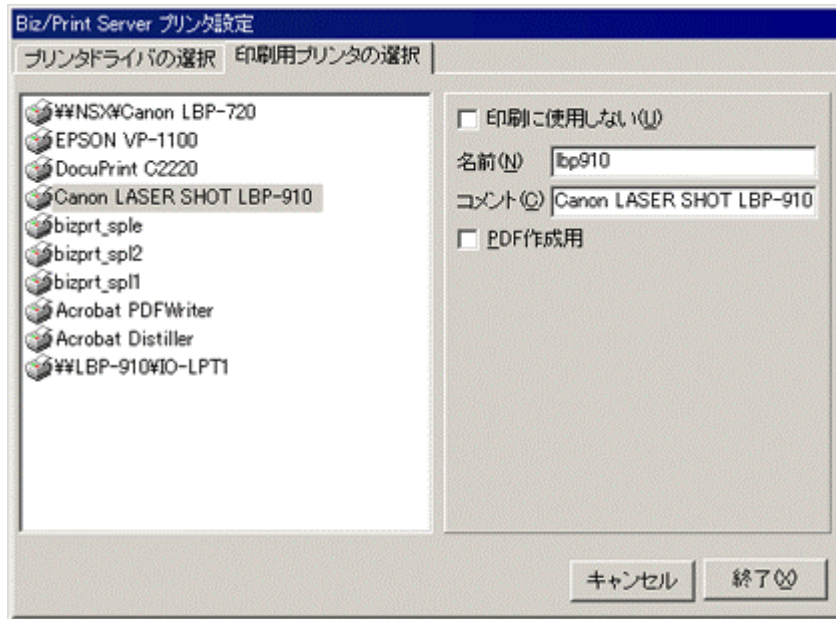


- (3) セットアップが終わるとシステムは再起動します。
- (4) 再起動後、自動的に「Biz/PrintServer プリンタ設定」が起動しますので、以下の設定を行います。手動で「Biz/PrintServer プリンタ設定」を起動するためにはインストールディレクトリの bin¥BizDevConf.exe をダブルクリックして起動してください。
- (5) 「プリンタドライバの選択」ページで、印刷イメージを作成するために使用するプリンタを指定します。ご利用のシステムにインストールされているプリンタから選択してください。



- ※ ここで選択するプリンタは、Biz/PrintServer が印刷イメージを生成するときに参照されます。印刷イメージの解像度や余白などの制約は、ここで選択したプリンタにより決定されます。
- ※ Biz/PrintServer は印刷イメージの生成にプリンタドライバの EMF 生成機能を利用します。ここで選択するプリンタのドライバは EMF に対応している必要があります。

- (6) 「印刷用プリンタの選択」 ページで印刷に使うプリンタを選択します。
ここで選択したプリンタに対して印刷が可能となります。プリンタを選択し、「印刷に使用しない」チェックボックスをはずしてプリンタ名を指定してください。



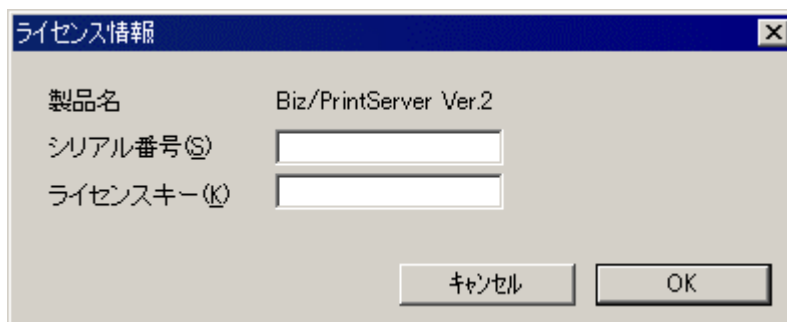
- ※ ここで登録できるプリンタは最大 30 台までです。
- ※ 必ず一台以上のプリンタを選択してください。
- ※ 名前(N)に入力する名前は、印刷管理用の Web ページに表示されます。HTML のタグとして解釈できるような名前 (<HR>など) や、空白文字を含めないようにしてください。
- ※ Adobe Acrobat を使用して PDF の生成を行う場合、以下の点に注意してください。
 - ① Biz/PrintServer には Adobe Acrobat は含まれておりません。別途 Adobe Acrobat を入手して事前にインストールしてください。
 - ② Adobe Acrobat をインストールすると、「Acrobat PDFWriter」と「Acrobat Distiller」の 2 種類の PDF 生成用プリンタが登録されますが、必ず「Acrobat Distiller」を選択してください。「Acrobat PDFWriter」には対応していません。
 - ③ 「PDF 作成用」のチェックボックスをチェックしてください。「PDF 作成用」をチェックすると、PDF 生成用の出力モジュールがセットアップされます。
 - ④ Distiller の環境設定で、Distiller プリンタドライバに出力したときに、確認のダイアログ等が表示されないようにしてください。

- (7) 「終了(X)」 ボタンを押して「プリンタ設定」を終了してください。

- (8) ライセンスマネージャを起動します。
「スタートメニュー」から「プログラム(P)」→「AXIS Software」→
「BizPrintServer」→「Biz-Collections ライセンスマネージャ」を選択します。

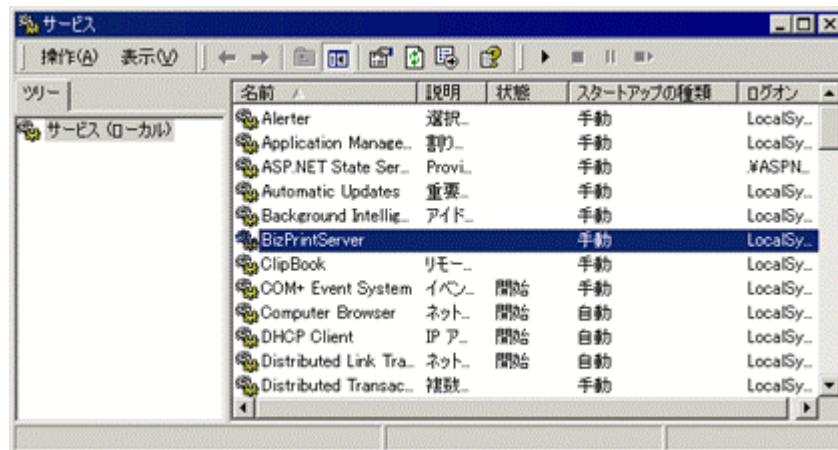


- (9) 製品一覧から「Biz/PrintServer Ver.2」を選択します。
- (10) 「新しいライセンスの登録(A)...」をクリックします。
- (11) 購入時に通知された「シリアル番号」と「ライセンスキー」を入力して、「OK」をクリックします。



- (12) 正しくライセンスが登録されると、製品一覧にライセンス状況が表示されます。

- (13) コントロールパネルからサービスを開き、BizPrintServer を起動します。



インストールが正常に行われていないか、設定内容に問題があるとエラーダイアログが表示され Biz/PrintServer は起動しません。

エラーが発生した場合、インストールディレクトリの下に log¥server.log というログファイルが作成されエラー内容が記録されます。また、WindowsNT のイベントビューアに情報が記録されます。

エラー内容を確認して問題点を取り除いた後、再度起動を行ってください。[最終ページ](#)に一般的なエラー内容と対処方法がありますので参考にしてください。

(14) WEB ブラウザを起動し、http://ホスト名:8088 を開きます。



(15) 以上でサーバ機能のインストールは終了です。

クライアント機能のインストール

Biz/PrintServer のクライアント機能は、接続方法の違いにより 3 種類の形態をとることができます。

- ・ ActiveX モジュールを介した DCOM 接続
IIS をはじめ、Windows 上のアプリケーションから接続するためにはこの形態となります。
- ・ PL/SQL 用 DLL を介した DCOM 接続
Windows 上の OAS など、PL/SQL アプリケーションから接続するためにはこの形態となります。
- ・ JavaConnect を介した HTTP 接続
Servlet から接続するためにはこの形態となります。

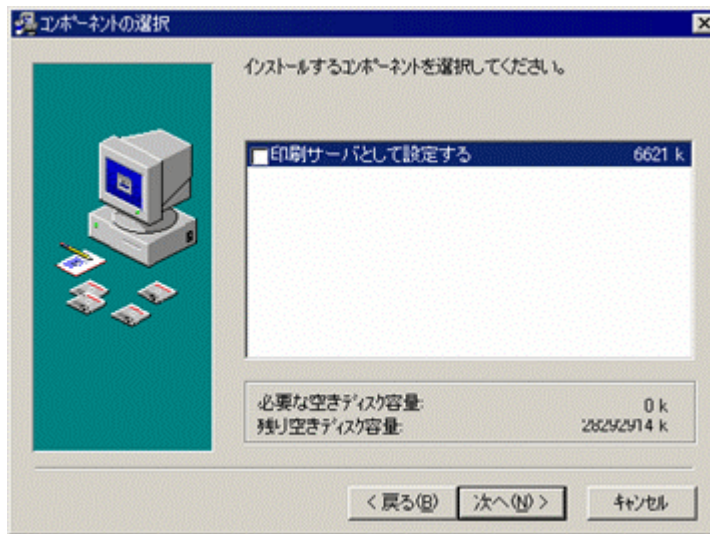
DCOM クライアントのインストール

ActiveX または PL/SQL 用 DLL を用いる場合のインストール手順を、以下に示します。サーバ機能をインストールしたシステム上では、同時にクライアント機能をインストールされているのでこの手順は必要ありません。

- (1) クライアントとして使用するシステムで、CD-ROM に含まれる SETUP.EXE を起動するか、自動的に表示されるパネルより「Biz/PrintServer」を選択します。



- (2) セットアッププログラムの指示に従い、Biz/PrintServer のインストールを行います。このとき、インストールするコンポーネントを選択する画面で、「印刷サーバとして設定する」チェックボックスをはずしてインストールを行います。



- (3) IIS との連携を行う場合、続けて「[IIS 用のセットアップ](#)」を行ってください。ORACLE PL/SQL との連携を行う場合は続けて「[ORACLE PL/SQL 用のセットアップ](#)」を行ってください。

Java クライアントのインストール

JavaConnect を用いる場合のインストール手順を以下に示します。サーバ機能をインストールした場合でも JavaConnect はインストールされませんので、この手順によりインストールを行ってください。

- (1) JAVA 環境のセットアップを行う前に、JAVA アプリケーションサーバと同一のコンピュータか、ネットワーク上の他のコンピュータに Biz/PrintServer のサーバ機能をインストールします。Windows2000 または WindowsNT4.0 の場合だけ、同一のコンピュータにインストールすることができます。
- (2) インストールした Biz/PrintServer を起動します。
- (3) JavaConnect を設定するコンピュータから Biz/PrintServer の内蔵 Web サーバへ Web ブラウザで接続します。標準インストールでは以下のような URL となります。

`http://server-name:8088/index.html`

※ server-name は Biz/PrintServer が稼動するコンピュータのホスト名となります。

- (4) 正常に接続されると下図の画面が表示されます。続いて **Download Pages** をクリックします。



- (5) Download Page が表示されます。



JavaConnect の欄に、JavaConnect.zip と JavaConnect.tar の 2 種類のアーカイブへのリンクがあります。これらのリンクはアーカイブ形式が異なる以外は同じ内容です。どちらかを選択してダウンロードします。

- (6) ダウンロードした JavaConnect アーカイブをインストールしたい位置に展開します。展開すると以下のディレクトリが作成されます。

htdocs ... サンプルの Web アプリケーションが含まれます。

lib JavaConnect のライブラリが含まれます。

- (7) lib ディレクトリにある BPSConnect.jar ファイルと xerces.jar ファイルをクラスパスに(CLASSPATH)に追加します。
- (8) 以上で、JavaConnect のインストールは終了です。続けてお使いの Java アプリケーションサーバの設定を行ってください。「[Tomcat のセットアップ](#)」を参考にしてください。

開発環境のインストール

Biz/PrintServer の開発作業は主に帳票定義の作成とデータを埋め込むためのプログラムの作成となります。Biz/PrintServer は汎用的に利用できる帳票印刷アプリケーションサーバですので、これらの開発作業に利用するツールやプログラム言語はアプリケーション要件により自由に選択することができます。

本製品には次の印刷モジュールが標準添付されます。

- **PrintStream FormWriter** 印刷モジュール
実行環境は Biz/PrintServer のインストールと同時にインストールされます。帳票フォームファイルを作成するためのツール「PrintStream FormEditor」は開発環境にインストールする必要があります。
 - ※ 本製品に含まれる **PrintStream FormEditor** のライセンスは 1 ユーザライセンス となります。2 台以上のコンピュータに **PrintStream FormEditor** をインストールする場合には、追加のライセンスを購入する必要がありますのでご注意ください。
- **HTML** 印刷モジュール
HTML に独自の用紙サイズや改ページなどの拡張タグを付加することで、HTML を実用的な帳票として印刷するためのモジュールです。実行環境は Biz/PrintServer のインストールと同時にインストールされます。HTML 印刷モジュール用の開発環境は弊社からは提供していません。通常の HTML や ASP などの作成に利用される環境をご利用ください。

この他にも、別売の **DocumentGenerator** シリーズ、**PrintStream for InternetExplorer** などの印刷モジュールが、評価用にセットアップされます。

ここでは標準添付される PrintStream FormEditor のインストール手順を解説します。

- (1) PrintStream FormEditor のインストール前にインターネットエクスプローラ 5.0 以上がインストールされていることを確認してください。PrintStream FormEditor の利用には必ず必要となります。



- (2) 開発環境として使用するシステムで、CD-ROM に含まれる PrintStream¥setup.exe を起動するか、自動的に表示されるパネルより「PrintStream」を選択します。



- (3) セットアッププログラムの指示に従い、インストールを行なってください。
- (4) セットアップが終わりましたら、サーバ環境と同様にライセンスマネージャからライセンスの登録を行って下さい。

Web サーバ側の設定

Biz/PrintServer を Web サーバと連携させる場合、連携する Web サーバに Biz/PrintServer のクライアント機能のインストールに加え、Web サーバの種類に応じたインストール作業が必要となります。

IIS 用のセットアップ

Biz/PrintServer を IIS と連携して利用する場合、以下の作業を行ってください。

- (1) IIS が稼動するサーバに、Biz/PrintServer サーバまたはクライアント機能をインストールします。クライアント機能をインストールする場合には、LAN 上の他のコンピュータにサーバ機能をインストールしておく必要があります。
- (2) <インストールディレクトリ>\¥htdocs 以下に含まれるファイルを、IIS で公開しているディレクトリにコピーします。
- (3) WEB ブラウザで、`http://<ホスト名>/<コピー先ディレクトリ>/index.html` を開きます。（直接<インストールディレクトリ>\¥htdocs を公開してもかまいません）

Oracle PL/SQL 用のセットアップ

Biz/PrintServer を ORACLE の PL/SQL と連携して利用する場合、以下の作業を行ってください。

- (1) ORACLE が稼動するサーバに、Biz/PrintServer サーバまたはクライアント機能をインストールします。クライアント機能をインストールする場合には、LAN 上の他のコンピュータにサーバ機能をインストールしておく必要があります。
- (2) Biz/PrintServer の「サーバ機能」をセットアップ後、`http://ホスト名:8088` を Web ブラウザで開き、[インストールガイド](#)を参照してください。

Tomcat のセットアップ

Biz/PrintServer を各種 JAVA アプリケーションサーバと連携して利用する場合の設定を Tomcat を例に説明します。

- (1) Tomcat の設定を行う前に、JavaConnect のインストールを行ってください。

- (2) JavaConnect の htdocs ディレクトリをアプリケーションサーバの設定を変更して公開します。

Tomcat の設定例) server.xml に以下の定義を追加し、/bps で公開

```
<Context path="/bps"
  docBase="/app/axis/printserver/htdocs"
  crossContext="true"
  debug="0"
  reloadable="true" >
</Context>
```

- (3) WEB ブラウザで、<http://<ホスト名>/<公開ディレクトリ>/index.html> を開きます。
- (4) 正常にインストールが行われると、以下の画面が表示されます。



以上で、Tomcat の設定は完了です。

Biz/PrintServer は簡易 Web サーバ機能を内蔵しています。Biz/PrintServer を IIS や OAS と同じコンピュータにインストールする場合、ポート番号の衝突に注意してください。標準構成では Biz/PrintServer の内蔵 Web サーバは 8088 番のポートを利用します。ポート番号を変更するためにはインストールディレクトリの config¥local¥server.conf の以下の行を修正して再起動してください。

Port: 8088

Visual Basic 用サンプル

本リリースには、Biz/PrintServer の印刷処理を行う印刷モジュールアプリケーションと、Biz/PrintServer に印刷リクエストを発行するクライアントアプリケーションのサンプルプログラムが添付されています。詳細につきましては <インストールディレクトリ>\vb をご参照ください。

セットアップ時のエラーと対処方法

設定ファイル<~>がオープンできません

設定ファイルが見つからないか、開くことができません。設定ファイルを確認してください。このファイルはインストールディレクトリの `config¥local¥server.conf` です。

ServerRoot:の記述が不整です。

ServerRoot として指定されているディレクトリにアクセスできません。指定しているディレクトリが存在することを確認してください。

EMFSpoolDir:の記述が不整です。

EMFSpoolDir で指定されているディレクトリにアクセスできません。指定されているディレクトリが存在することを確認してください。

有効な Pool 定義がありません

インストール時の「プリンタドライバの選択」(8 ページ) で、正しい指定を行わなかったときに発生します。もう一度、インストールディレクトリの BizDevConf.exe を実行して設定を行ってください。

有効な Device 定義がありません

インストール時の「印刷用プリンタの選択」(9 ページ) で、正しい指定を行わなかったときに発生します。もう一度、インストールディレクトリの BizDevConf.exe を実行して設定を行ってください。

指定のデバイスは使用できません。

インストール時の「プリンタドライバの選択」または「印刷用プリンタの選択」選択したプリンタが利用可能な状態にありません。プリンタドライバを確認後、もう一度、インストールディレクトリの `bin¥BizDevConf.exe` を実行して設定を行ってください。

スプールディレクトリが使用できません。

Windows のスプーラが利用するディレクトリにアクセスできないときに発生します。スプールディレクトリを確認して Biz/PrintServer の実行時ユーザ(標準では SYSTEM ユーザ)からアクセスできることを確認してください。

印刷を行うと「エラー番号 1053 EMF 生成用プリンタの出力データが EMF 形式ではありません。」が表示され印刷できない。

「プリンタドライバの選択」で選択したプリンタのドライバが EMF 形式をサポートしていません。別のプリンタドライバをインストールして、もう一度 8 ページの「プリンタドライバの選択」から設定を行ってください。

IIS 用のサンプルを実行するとエラーが出る。

以下の事を確認してください

- (1) IIS が正常に動作していること。
- (2) IIS の動作するマシンに、少なくとも Biz/PrintServer のクライアント機能をインストールしていること。
- (3) IIS から参照できるディレクトリに「IIS 用サンプルのセットアップ」(16 ページ)の手順に従って関連ファイルをコピーしていること。
- (4) (3) でコピーしたディレクトリを URL で参照していること。

サンプルを印刷するとアプリケーションエラーのダイアログが表示される。

この現象は Adobe Distiller 以外のプリンタに対して、PDF 生成用オプションをチェックしている場合、発生する可能性があります。以下の事を確認してください

- (1) インストールディレクトリの config¥device¥に置かれている.conf ファイルを調べて、Adobe Distiller 以外のプリンタに対して以下の記述がある場合削除してください。

External : pdfctl.exe

コントロールパネルより Biz/PrintServer を再起動してください。

その他の問題が発生している

製品に付属の問合せカードに必要事項を記入の上、下記までご連絡をお願い致します。

サポートページ <http://www.axissoft.co.jp/biz>

FAX 03-5950-3524

E-Mail biz-qa@axissoft.co.jp